



スージーちゃん

波田まちづくり通信



スйкаワくん

松本市広報 R7-6

波田まちづくり協議会サイト
「はたみみ.net」

小学校クラブ活動 公民館サークルが指導

波田まちづくり協議会（地域連携部会）は、今年度も波田小学校のクラブ活動に公民館サークルの皆さんを講師として派遣する活動を行いました。

今年度のクラブ活動は11月に集中して3回実施され、「写真」、「囲碁」、「将棋」、「折り紙アート」、「ビーズ手芸」、「茶の湯」のクラブに、各分野のサークル団体から22名の皆さんが指導にあたってくれました。

子どもたちの成長には、地域社会と連携して学ぶ機会を与えることも必要です。人との関わりを増やすことで、社会性が高まることとなりますので、今後も地域の力で子どもたちを育ていけるよう活動を継続していきます。



(囲碁の指導を受ける様子)



(解体後の中央運動広場敷地)

中央運動広場 解体工事が完了

松本市立病院の移転場所である波田中央運動広場の解体工事が12月に完了し、フェンスや照明が取り外されたことから敷地全体が見渡せるようになりました。

運動広場は、営林署の苗圃であった敷地の払い下げを受け、昭和59年に町が整備したもので、これまで41年間にわたり、地区の屋外スポーツ振興拠点として住民に親しまれてきました。新たな施設ができるまでは、梓川地区の施設を利用できることになっています。

新しい運動広場は、波田保健福祉センターの南側隣接地に建設予定で、完成は令和8年12月頃となります。

波田小4年1組 避難所運営を体験学習

波田小学校4年1組のクラス児童は、「防災」を総合的な学習の時間のテーマとし、「避難所の運営」についてシュミレーションしながら学習する取り組みなどを行いました。

授業は4月から12月にかけて行われ、VR（仮想現実）を用いた地震体験、段ボールベッドや簡易トイレなどの組み立て方や使い心地の検証、市販防災食の試食やハイゼックスを使った炊き出し体験のほか、避難所運営組織を児童が役割分担して運営を考えてみる試みも行いました。

この学習を通じ、有事の際はみんなで対応を考え、お互い協力し、助け合っていくことの大切さを学びました。



(12月の炊き出し体験の様子)

～ 波田支所「オンライン窓口」をご利用ください ～

オンライン窓口とは、地域拠点（地域づくりセンターなど）と市役所本庁をWeb会議ツールで接続し、本庁まで行かなくても手続きできる窓口です。窓口と同じように、お互いに書類を見ながら話すことができます。お気軽にご利用ください。

電話だけだと
説明がわかりにくい。書類を見ながら、
説明を受けられる。